

単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領国語科第5学年及び第6学年、「C読むこと」の指導事項「オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。」「カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。」と、「B書くこと」の指導事項「イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。」の内容を受けて設定したものである。

本単元では、学習指導要領の「C読むこと」の言語活動例(2)「ア 伝記を読み、自分の生き方について考えること。」と「B書くこと」の言語活動例(2)「ウ 事物のよさを多くの人に伝えるための文章を書くこと。」を基に日本人初の金メダリスト「世界人『織田幹雄』」を紹介する文章を書き、リーフレットにまとめる言語活動を位置付ける。リーフレットを作成することで、複数の本や資料を比べて読み自分の考えを広げたり深めたりする力、自分の考えを明確に表現するために文を構成して書く力を身に付けることをねらいとしている。また、作成したリーフレットを公共施設などで配布し発信するという目的をもたせ、書くことの楽しさや喜びを感じさせることができると考える。

織田幹雄は、海田町出身の日本人初の金メダリストである。本校にも、織田幹雄の三段跳びの記録の15.21mの長さの国旗掲揚台のポールがあり、その他にも町内の至るところに織田幹雄の偉業を示すものがある。昨年度の学習では、児童たちが作成したパネルを「ふるさと館」に展示し、多くの人々に織田幹雄の生き方や考え方を紹介することができた。生誕100年以上過ぎた現在でも、海田町の人々にとって織田幹雄の存在は大きく、多くの人に影響を与え続けている。児童に、織田幹雄を題材として、世界の陸上競技の発展に寄与した功績や人柄など競技者としての生き方だけでなく、「世界人」という言葉に象徴される、国籍にとらわれないグローバルなものの方や考え方について、読んだことを基に自分の考えをもつ力を育成する。

教材文「手塚治虫」は、読解のための共通教材として扱い、人物の生き方や考え方について読み取り、考えを交流することにねらいを置く。

- 児童は、2学期に総合的な学習の時間に行ったトマトの「凛々子」の栽培活動である「凛々子大作戦！」の活動報告をするためのリーフレットを作成した。児童は、リーフレットで活動の報告を伝えるためには、見出し、写真、報告の内容など読み手を引きつけるような内容や構成の工夫が必要であることに気付いた。しかし、目的や意図に応じて、複数の情報を取り出し、論理的に関連付けたり、情報を整理して自分の考えを論理的に表現したりすることに課題がある。

また、5月に見学した「ふるさと館」の展示では、織田幹雄について興味深くパネルを見たり、常設されている織田幹雄に関する展示品を見たりする児童の姿が見られた。「先輩の学習を引き継ぎたい。」「もっと織田幹雄のことが知りたい。」と多くの児童が感想をもっていた。

○課題を発見・解決する力

課題の設定では、児童自らが課題意識をもち、その意識が連続発展できるように「織田幹雄」との出会いを大切にしたい。単元の導入前には、道徳の時間に「織田幹雄」を題材にした資料を用いて、織田幹雄の業績や心情に共感させ、織田幹雄に対する憧れの思いを高めておく。その思いを高めた上で、先輩たちの学習を引き継ぎ、多くの人に日本人初の金メダリストである「織田幹雄」の「世界人」としての生き方を伝えたいという願いをもたせる。また、「ふるさと館」で行われた昨年度の学習のパネルの展示では、多くの人々が織田幹雄の生き方や考え方を知ることができたという結果を伝える。しかし、展示パネルでは来館した人々にしか紹介することができないという昨年度の学習の課題を基に、より多くの人々に織田幹雄について紹介するための内容や方法について児童に考えさせる。目的意識を明確にし、織田幹雄を紹介するための効果的な表現形式について、既習を生かしながら考えさせ、リーフレットなどの特徴(利点)を明らかにした上で、紙面にまとめていく良さに気付かせるようにしたい。

また、整理・分析の過程においては、昨年度紹介文にまとめた時の「ふるさと館」の職員の方の評価の手紙の内容を伝えることにより、児童に日本人初の金メダリストという陸上選手としての生き方だけでなく、その後世界の陸上競技を指導していく指導者としての生き方や、人種や国籍を問わない世界人としての生き方について、深く考えさせる必要性を感じさせる。外部の評価を生かし、より多くの人々に「世界人『織田幹雄』」の生き方を伝えるという課題に主体的に取り組ませることがねらいである。

○**深く考える力**

織田幹雄を紹介する文章を書く学習で育成したい思考力は、集めた情報を、目的に応じて整理・分析し、織田幹雄のあゆみと関連付けて、生き方や考え方を多面的に考える創造的思考力と、事実出来事を基に、織田幹雄の生き方や考え方から自分が考えたことが読み手に分かるように内容を構造化する論理的思考力である。

織田幹雄の生き方に大きく影響を与えた出来事・人との出会い、考え方などについて考える際には、思考ツールの「お魚ボーン図」を用いて、影響を与えた事柄を多面的に考えさせる。お魚ボーン図の大骨に影響を与えた事柄、小骨に人物に与えた影響や人物の生き方や考え方の詳細や理由を整理しながら、協働的に考えさせることにより、人物の生き方や考え方を多面的にとらえさせる。そして、自分の考えと友達の考えの違いや共通点を見つけ、考えを深めたり、新しい考えを創り出したりしながら思考できるような場に充実させたい。

また、出来事や人との出会いなどと織田幹雄の生き方や考え方を関連付けるために「ピラミッドチャート」を用いる。ピラミッドチャートの下段には出来事や人との出会いなどの事実、中段には織田幹雄の生き方や考え方、上段には織田幹雄の生き方や考え方から考えた一文字を書き入れる。その際、それぞれの段に書かれた内容を関連付けさせる中で、論理的に人物の生き方や考え方をとらえさせる。

○**自己を理解する力**

課題の設定において、作成したリーフレットは、「ふるさと館」や織田幹雄の金メダルが所蔵されている「秩父宮スポーツ博物館（休館中）」などの施設と連携し、「世界人『織田幹雄』」の生き方や考え方を多くの人々に紹介することが目的であることを明確にする。その後、学習の計画を児童と共に立て、単元終了時のゴールの見通しをもたせ、どのような力を付けたらよいか、評価基準を児童と共に作成する。学びのモニタリングの時間には、作品、友達や6年生からの評価、ノートなどを基に、昨年度の5年生から引き継いだ本単元の学習における自らの学びや学び方を振り返り、織田幹雄の生き方や考え方を紹介し、伝えることの価値や人々に学んだことを紹介することの楽しさや喜びに気付かせる。また、織田幹雄の生き方と自分の経験を重ねながら考えることを通して、より深く自己を見つめ、この学習がどのような意味や意義があったかを振り返らせたりする中で、深く自己を見つめることができるようにしたい。

単元の目標及び内容について

- 資料を基に、人物の生き方や考え方について考えたことを多くの人に伝わるよう紹介しようとする。
【関心・意欲・態度】
- 資料を読んで、人物の生き方や考え方から考えたことを話し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
【読むこと オ】
- 人物を紹介するリーフレットを作成するために、複数の資料や本を選んで比べて読むことができる。
【読むこと カ】
- 読み手の関心を喚起させたり、人物の生き方や考え方を効果的に伝えるために、見出しや全体の構成の効果を考えたりすることができる。
【書くこと イ】
- 人物を紹介するために効果的な言葉の使い方を意識しながら文章を読んだり書いたりすることができる。
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(カ)】

単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
【言語活動】 海田町出身の日本人初の金メダリスト「世界人『織田幹雄』」を紹介するリーフレットを作成する。			
資料を読み、人物の生き方や考え方について考えたことが、多くの人に伝わるようリーフレットで紹介しようとしている。	資料を読み、人物の生き方や考え方から考えたことを話し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。 人物の生き方や考え方について考えるために、複数の資料を読んだり、人物の年表と関連付けながら資料を読んだりしている。	読み手の関心を喚起させ、人物の生き方や考え方を効果的に伝えるために、効果的な見出しや構成を考えている。	人物を紹介するために効果的な言葉の使い方を意識しながら文章を読んだり書いたりしている。

指導と評価の計画

全 19 時間

次	時	学習内容	評 価			評価規準	評価方法
			関	読	書 言		
		国語 （5月） ○ふるさと館に展示されている昨年度の学習の成果物を見学し、織田幹雄や本単元に対する興味をもたせる。					
		道徳の時間 ○資料「強いものは美しいー日本人初の金メダリスト 織田幹雄ー」【価値項目1ー(2)】の学習を行い、織田幹雄の思いに共感する。					
一	1	課題の設定（2） ○海田町出身の日本人初の金メダリスト織田幹雄について関心を高める。 ・「ふるさと館」でパネル展示の見学を振り返り、先輩の学習を引き継ぎながら「織田幹雄」の学習に挑戦しようとする意欲をもつ。 ・織田幹雄について知っていることを出し合い、これからの学習でどのようなことを紹介すればよいか内容を考える。 ・昨年度の学習を引き継ぎ、より多くの人々に海田町出身の「世界人『織田幹雄』」を紹介する方法を考え、本単元の学習課題を立てる。	○			・織田幹雄の伝記の学習について関心をもち、主体的に紹介する内容や方法を考えようとしている。	行動観察 ノート
	2	○学習の見通しを立てる。 ・教材文「手塚治虫」を基に、人物の生き方や考え方を紹介するために必要な観点（人物のあゆみ、生き方に大きく影響を与えた出来事、効果的な表現方法）について考える。 ・ゴールの見通しをもち、学習計画を立て、単元で付きたい力について考える。	○			・人物の生き方や考え方を紹介するために必要な観点を理解し、単元で付きたい力について考えようとしている。	発言 ノート

次	時	学習内容	評 価						
			関	読	書	言	評価規準	評価方法	
二	3	情報の収集（3） ○人物のあゆみを年表にまとめる。 ・教材文「手塚治虫」を時系列に読んで年表にまとめる。		○			・教材文を読んで、書かれている大まかな出来事をとらえ、年表にまとめている。	発言 年表	
	4 ・ 5	○人物のあゆみを年表にまとめる。 ・複数の資料を読み、織田幹雄のあゆみを年表にまとめる。 ・完成した年表をもとに、それぞれの出来事を関連付けながら、織田幹雄の生き方をいくつかの時代に分ける。		○			・複数の資料を読んで、書かれている出来事をとらえ、年表にまとめ、出来事を関連付けながらいくつかの時代に分けている。	発言 行動観察 年表	
	6	整理・分析（6） ○人物の生き方や考え方について考える。 ・教材文「手塚治虫」を基に、人物の生き方に大きく影響を与えた対象との出会い、取り組んでいく上での困難や挫折、選択を迫られる岐路などの出来事について考える。		○			・年表をもとに、人物の生き方に大きく影響を与える出来事・人との出会いなどを人物のあゆみと関連付けながら考えている。	発言 行動観察 ワークシート	
	7 ・ 8	○織田幹雄の生き方考え方について考える。 ・織田幹雄に関する資料を基に、織田幹雄の生き方に大きく影響を与えた対象との出会い、取り組んでいく上での困難や挫折、選択を迫られる岐路などの出来事について考える。 【本時 1 / 2】	織田幹雄の資料の並行読書		○			・年表をもとに、織田幹雄の生き方に大きく影響を与える出来事・人との出会いなどをあゆみと関連付けながら考えている。	発言 行動観察 ワークシート
	9	○伝記には、人物を紹介するために効果的な表現方法があることをとらえる。 ・教材文「手塚治虫」を読んで、様々な言葉の使い方により、人物を紹介する方法が違うことをとらえる。 ・織田幹雄を紹介する時に参考になりそうな表現を見付ける。				○		・人物を紹介するために効果的な言葉の使い方を意識しながら文章を読んでいる。	発言 行動観察 ノート
	10 ・ 11	○織田幹雄の生き方や考え方について、紹介文にまとめる。 ・紹介したい人物像や織田幹雄が大切にしてきたことは何かをピラミッドチャートを用いながら考える。 ・織田幹雄研究家のアドバイスを参考にしながら、織田幹雄についての紹介文の下書きをする。			○			・人物の生き方や考え方について、自分の考えを広げたり深めたりしている。	発言 行動観察 紹介文
三	12	まとめ・創造・表現（6） ○「世界人『織田幹雄』」の紹介文を仕上げる。 ・下書きを視点（事実を正確に書いているか、生き方や考え方を多面的に伝えているか）に基づいて推敲し、紹介文の清書をする。				○		・下書きを読み返し、事実が正確に書かれているか確かめたり、生き方や考え方を多面的に伝えているかどうか改善すべき点を見付けたりして、紹介文の清書をしている。	発言 行動観察 ワークシート

次	時	学習内容	評 価					
			関	読	書	言	評価規準	評価方法
三	13	○「世界人『織田幹雄』」の紹介文を仕上げる。 ・読み手に興味をもたせたり、織田幹雄を効果的に伝えたりするための見出しや構成などについて考え、紹介文の見出しやリーフレットの題を考える。			○		・読み手に興味をもたせたり、織田幹雄を効果的に伝えたりするための見出しや全体の構成について考えている。	発言 行動観察 作品
	14 ・ 15	○織田幹雄の生き方や考え方を表す一文字を考える。 ・織田幹雄の生き方や考え方を表す事実やエピソードと関連付けながら、人物の生き方や考え方を表す一文字を「ピラミットチャート」を用いながら考える。			○		・織田幹雄の生き方や考え方を表す一文字を選び、紹介するために大切なキーワードやその理由を明確に考えている。	発言 行動観察 紹介文
	16 ・ 17	○「世界人『織田幹雄』」の紹介リーフレットを作成する。 ・「世界人『織田幹雄』」の紹介リーフレットを自分たちのものの見方や考え方を交えながら作成し、完成させる。			○		・見出しや全体の構成の効果を考えながら、織田幹雄の紹介リーフレットを作成している。	発言 行動観察 作品
四	18	振り返り（２） ○完成した「世界人『織田幹雄』」のリーフレットの交流を行う。 ・作品を読み合い、友達の作品の工夫を見付け、作品の評価を付箋に書く。			○		・読み手の興味を引くような構成や表現の工夫に着目しながら作品を読んでいる。	発言 評価付箋 ノート
	19	学びのモニタリング ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・「世界人『織田幹雄』」のリーフレットを作ることを通して、考えたことを話し合い、自己の見方や考え方の高まりに気付く。 ・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点でノートや作品を基に自らの学びを振り返る。	○				・人物の生き方や考え方を通して学んだことなど自分のものの見方や考え方の変容や自らの学びや学び方を振り返ろうとしている。	発言 行動観察 学びのモニタリング

本時の学習

(1) 本時の目標

- 織田幹雄に関する資料を読み、年表をもとに、織田幹雄の生き方や考え方を出来事と関連付けて考えることができる。

(2) 本時の評価規準

- 織田幹雄に関する資料を読み、年表をもとに、織田幹雄の生き方や考え方と大きく影響を与えた出来事を関連付けて、織田幹雄の生き方について多面的に考えている。 **【読む能力】**

(3) 本時の学習展開（7時間目／全16時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力 ☆育成したい資質・能力
1 本時の学習課題を確認する。 めあて _____ 年表を基にして、織田幹雄の生き方について考えよう。 本時のゴールの見通し A ：生き方に大きく影響を与えた対象との出会い、困難や挫折などの出来事と自分の経験とを関連付けながら、織田幹雄の生き方や考えを多面的に深くとらえている。 B ：生き方に大きく影響を与えた対象との出会い、困難や挫折などの出来事と関連付けながら、織田幹雄の生き方や考えを多面的にとらえている。	◇教材文「手塚治虫」の学習をもとに、織田幹雄の生き方や考え方について考えることを確認する。	
2 作成した年表や資料をもとに、影響を与えた出来事や人との出会いを考える。 ○織田幹雄の生き方に大きく影響を与えた人や出来事は何だと思えますか。 □思考の場の工夫 関連付け 「お魚ボーン図」に対象と出会い、困難や挫折、人生の岐路などの出来事を関連付けながら織田幹雄の生き方や考え方を考えさせる。 陸上とかかわり ・事実(生き方・考え方) ・小学校時代の遊び(跳躍の基礎・体づくり) ・家事手伝い(要領よくやろうと考える力) ・様々な種目に挑戦(色々な動きを取り入れる) ・記録ノート(自分で分析、鋭い観察眼) ・陸上の指導者がいない(練習方法を考える) ・歌舞伎(観察眼) ・世界各国の大会に出場(世界人) ・新聞記者(記者として陸上に携わる) ・日本オリンピック委員(日本・世界の指導者に) 人との出会い ・(広島一中へ進学) 檜垣先生 ・(野口源三郎との出会い) 宇佐美先生 ・(陸上の道へ) 野口源三郎 ・(世界人の考えを) 山本忠興 困難や挫折 ・指導者がいない(観察眼) ・陸上の環境がない(工夫して練習) ・怪我(工夫して練習、強い精神力)	◇児童が常に織田幹雄の生き方や考え方について振り返ることができるように、作成した年表は教室に掲示し環境を整えておく。 ◇「お魚ボーン図」の大骨には、織田幹雄の生き方に影響を与えた出来事、小骨に影響を与えた内容や理由を簡単に記入しながら、グループで織田幹雄の生き方や考え方を考えるように指示する。 ◆見付けにくい児童には、教材文「手塚治虫」での学びを振り返らせ、時期をオリンピックまでに絞り考えるように指示する。	☆織田幹雄の生き方や考え方を人との出会いや困難や挫折などの出来事と関連付けながら、生き方や考え方について多面的に考えようとしている。

<p>学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力 ☆育成したい資質・能力</p>
<p>3 全体で交流する。 ○大きく影響を与えた出来事を通して、織田幹雄はどんな生き方や考え方をした人だと思いますか。 ・「精進」という言葉は、教える先生がいない中で、限られた道具で練習を工夫し、努力し続けたことから織田幹雄の生き方を表すと思う。 ・「強いものは美しい」の言葉には、心の強さ、精神力の強さ、何事にも挑戦し続けるという意味が表れていると思う。 ・多くの人々との出会いが陸上への道につながったので、人との出会いを大切にしたい人だと思う。 ・山本忠興先生の考え方だけでなく、海外遠征を重ねる中で、世界人という考えをもつようになった。</p> <p>4 本時の学習のまとめをする。</p>	<p>◇織田幹雄の生き方や考え方に対する自分の考えをノートに記入させた後、全体で交流する。 ◇織田幹雄の生き方や考え方によどのような影響があったのか、自分の考えを交えながら発言するように促す。</p> <p>◇本時は、陸上選手としての生き方を中心とした内容に偏ると考えられる。陸上選手として引退後の生き方や考え方について考える必要性に気付かせ、次時の学習につなげる。</p>	<p>◎織田幹雄の生き方に大きく影響を与えた対象・人との出会いなどを関連付けながら、織田幹雄の生き方や考え方について多面的に考えている。 〔読む能力〕(発言・行動観察・ノート)</p>
<p>★めざす児童の姿 織田幹雄は、人との出会いを大切にしたい人だと考えます。それは、多くの人々との出会いにより、陸上の道へ進んだからです。広島一中へ進学をすすめた檜垣先生、講習会を紹介した宇佐美先生、「なかなか君は跳ぶな」とほめてくれた野口源三郎選手…と多くの人々との出会いによって、陸上への道に進んだからです。</p>		

(4) 板書計画

海田町に息づく「世界人『織田幹雄』」を紹介しよう
「手塚治虫」

めあて
年表を基にして、織田幹雄の生き方について考えよう。

A B
出来事と関連付けながら 多面的に
自分の経験も関連付けながら 多面的に深く

手塚治虫

陸上とのかわり 人との出会い 困難やざせつ

織田幹雄

織田幹雄の生き方・考え方

- ・「精進」
- 限られた道具・先生がいない練習を工夫・努力し続けた
- ・「強いものは美しい」
- 心の強さ・精神力
- 何事にも挑戦し続ける
- ・人との出会いを大切にした人
- ・世界人としての生き方
- 山本忠興先生・海外遠征

陸上選手 引退後？
↓
どのような生き方・考え方

まとめ
織田幹雄は、人との出会いを大切にした人

多くの人々との出会い
↓陸上への道

檜垣先生 宇佐美先生 野口源三郎

〈参考〉 学びのモニタリング 1

学びのモニタリング

海田町に息づく「世界人『織田幹雄』」を紹介しよう
「手塚治虫」

五年組

振り返り

	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1/	日付
5												5
4												4
3												3
2												2
1												1

● **主体性** アクションを起こす力
● **思考力** しっかり考える力
● **自己理解** 自分のよさや成長に気づく力



学びのモニタリング
 海田町に息づく
 「世界人『織田幹雄』」を紹介しよう
 「手塚治虫」

主体性・・・**アクションを起こす力**
 リーフレットで紹介するために、必要な情報を集めたり、生き方や考え方を考えたりしようとした。

- 5 4 3 2 1
- 5 4 3 2 1

思考力・・・しっかり考える力
 出来事や人との出会いなどを関連付けながら、織田幹雄の生き方や考え方について多面的に考えた。
 事実と感想、意見などを区別し、読み手に分かるように文章を書いたり、リーフレットの構成を考えたりした。

- 5 4 3 2 1

自己理解・・・自分のよさや成長に気づく力
 織田幹雄の生き方と自分を重ねながら自分自身を見つめたり、織田幹雄を紹介することの楽しさなどに気づいたりした。

- 5 4 3 2 1

学び方をふり返って

成長したこと 課題だと思つことや次の目標